

ESD-J 第5回オンライン講座

「教育現場におけるESD/SDGs」
～ESDの現場、最前線の取組～

日時:2021年3月27日(土)

2つの話題提供の後、ブレイクアウトルームでディスカッション

- ・北海道うらほろ町
- ・長野県飯田市遠山郷



●話題提供 ①

子どもからの学びを地域づくりの力へ
～北海道浦幌町の「うらほろスタイル」～
中田和彦（国立日高青少年の家所長）

- ・子どもが将来住みたいと思える町づくり
- ・小中学校9年で地域を学び町の活性化案提案
→大人が本気で受け止め
- ・10年間で17件の提案が実現
- ・町の花 ハマナスを使った
化粧品開発など
雇用につながるような例も！



●話題提供 ②

地域の持続可能性に向き合う学校ESD
～長野県飯田市遠山郷の事例～
小玉敏也（麻布大学教授）

- ・「廃校」含む地域課題への実践
- ・2018年～立教ESD研究所 と組み
学校・地域・公民館が一体となって
- ・小規模校ならではのよさ、教育移住
- ・Iターンした20代の若者が地域の魅力を語る
- ・20代「中学生と地域住民が未来を語り合う会」



アンケートより

- 子供を大切にしている取り組みについて詳しく聞いた。
 - 子どもや地域の人の本気度が伝わってきた。
 - 飯田市「遠山郷」の取組は自分たちの取組にも通じる点が多々あってとても参考になった。
-
- 長野県飯田市の事例として、過疎化に伴う廃校のピンチを地域創生プロジェクトで
 - チャンスに変えた事例がすばらしい。他の地域でもその地域の特色を活かした事業ができそうな感触を得ました。
 - 特に関心のあるテーマでした。小規模特認校というのを初めて知りました。
-
- 教育現場というと、よく学校の話に偏ることが多いが、学校も含めて地域の変化に焦点があたり、参考になることが多かった。
-
- ブレイクアウトルームでの話し合いの中で、事例紹介について、その事例はどうして生まれたのか、どうしてこうなったのか、そのバックストーリーをもっと深掘りして聞きたかったという意見がありました。そういう点では、1回あたりの研修で取り上げる事例を一つに絞って、より深掘りしていけるようにするのも良いのではないかと思いました。
-
- 都市部（所謂人口の多い市町）と地方の人口減少が進む小さな市町でのESDとは同じように捉えてよいのだろうか？という疑問が湧いた。